



## 社長からのメッセージ

私たちの仕事は、利用者様が自分らしくいられる日常生活を支えること。みなさん一人ひとりの“気づきと思いやり”が、アースを動かしています。



株式会社アース代表取締役 佐塚みさ子

看護師になったのは“手に職を”といった 動機だった私ですが、今では天職だと思っています。会社経営など知らない、一看護師である私がアースを起こしたのは、「自分の家でいつもの生活を送りながら療養したい」という利用者様の思いに応える訪問看護を実現したかったからです。看護師のキャリアの中で、「どんな高度な医療機器が開発されても、人の手のぬくもりは大切なんだ」という実感や、「難病患者は行き場がないんだ」という衝撃や、「家で看取りたいけれど不安でいっぱい」というご家族の悩みに向き合ってきました。

ですから、アースがこれまで訪問看護

やヘルパー、ケアプランのサービスで頑張ってきたことと、この度開業するサービス付き高齢者向け住宅、療養デイサービス事業の目指す理想は同じです。利用者様の意思を尊重し、ご家族の苦労をやらげると、自らのつらさを提供するサポートです。そのために、私を含むアースのすべてのスタッフに“気づきと思いやり”の心と言葉と技術が求められています。この仕事をしている意味を、日々自分に問いかけてください。自分を必要としてくれる方がいるしあわせ、だれかに必要とされる仕事をしている誇りを持ち続けてください。仲間同士で助け合い、サボテンの花のよう

な明るいチームワークで、進んでいきましょう。今この瞬間を生きる利用者様に輝いていただくことが、私たち自身を輝かせることにもなるのです。

### ● 佐塚みさ子 プロフィール

昭和 36 年、茨城県生まれ。看護師として東京都内の総合病院などに勤め、千葉県内の有料老人ホームの看護師長を経て、平成 21 年に株式会社アースを設立、「訪問看護サボテン」の事業をスタート。平成 25 年 4 月現在で、アースは 6 つの事業を展開中。家族は夫と息子 2 人。気分転換は食べること、歌うこと。

## 事業所 NEWS

### サービス付き高齢者向け住宅 サボテン六高台いよいよオープン!



3月1日から最初の入居者様をお迎えし、サボテン六高台の日常生活がスタートします。3月2日には、これからもお世話になる多くのお客様に見守られて開業記念式典が開かれます。

## ■ 株式会社アース 会社概要 ■

平成21年設立。「訪問看護サボテン」、「ヘルパーサボテン」（平成22年～25年1月）、「ケアマネサボテン」（平成23年～）、「ケアアラサボテン」（平成25年1月～）、「サービス付き高齢者向け住宅サボテン六高台」（平成25年3月～）、「療養型デイサービスサボテン」「ケアマネサボテン六高台」（いずれも平成25年4月～）を展開。千葉県松戸市、鎌ヶ谷市、船橋市、市川市、柏市などの地域で、訪問看護、訪問介護、リハビリ、ケアプラン、デイサービス、高齢者住宅の運営等の医療サービスを提供している。

<http://earth-saboten.co.jp>

# 明るいサボテンの花を咲かせましょう!

## 「提案型介護」を実施しよう。

皆さんにまず意識して頂きたい事は、「利用者様の存在があるからこそ、私たち医療・福祉従事者は生活を営め生き甲斐を感じれる」という事です。その上で、高齢な方や障害をお持ちの方の主体的決断を尊重する「提案型介護」を実施すれば、利用者様の満足を得られる事と私は考えます。



取締役 船後 靖彦

## 指名される事業所を目指して。

訪問看護サボテン開設から早3年、アースは今日まで駆け足できた観があります。まだまだもっと大きくなり、皆さんで大輪の花を咲かせていきたいと思えます。リハビリ部門も、もっと認知を広げ、「何かあればサボテンに」と言われる事業所にしていきたいです。



取締役 川井 城樹

## 仕事に誇りを持ち続けましょう。



相談役 菅原 均

アースを設立以前から見守っています。医療関連企業の労働組合役員や連合組織の役職を務めた経験から、サボテンの職員の皆さんの働きやすさを考えています。利用者様の尊厳を守るといふ仕事に誇りを持ち続けられる組織づくりのために、アドバイスしていきたいと思っています。

## 職員一人ひとりの意欲を大切に。



統括部長  
サボテン六高台施設長  
ケアマネサボテン所長  
原田 信子

今年はアースを支えるサボテンの花が6つになります。今まで以上に職員一人ひとりの力が必要とされます。それぞれのカラーを持った職員の意欲を大切にして、利用者様にとって、また、働く職員にとっても暖かな色になるよう力を併せて頑張っていきたいと思えます。

## ご利用者様とご家族から人生を学ぶ。

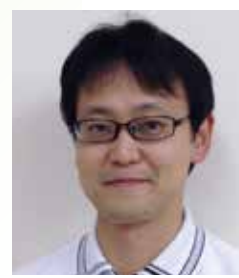
2011年6月、縁あって株式会社アース、訪問看護サボテンの所長となり、早2年目も後半にさしかかりました。訪問看護を実践して13年。たくさんの出会いとお別れがある中で利用者様やご家族から様々な人生の学びをしてきました。この先も訪問看護師として訪問看護サボテンで飛躍していきたいと思っています。



看護・介護部部长  
訪問看護サボテン所長  
長谷川 綾子

## 希少な存在である期待に応えたい。

療養デイサービスは全国でも約70・千葉県では3事業所目という希少な存在です。皆様に協力いただきながらしっかりと体制を整え、このサービスを必要とされている利用者様のご期待に応えられる事業を行っていききたいと思えます。



看護・介護部次長  
療養デイサービスサボテン所長  
奥富 幸至

## 困難もチームワークで乗り切ります。



ケアラサボテン所長  
松下 淳

いよいよケアラサボテン号も出船しました。船の積み荷は『気づきの種』と『思いやりの花』。この先大海原の荒波の洗礼を受けるかもしれません。そんな時も、しっかりと舵を握り、クルー一丸となって乗り切ります。地域の誰もが知っている、誰もが乗ってみたいと思える豪華客船にしたいと思えます。

## ♪何かを信じて生きてゆこう♪



アースの事業所はなぜ“サボテン”なのでしょう？ 実は佐塚社長の大好きな歌が『サボテンの花』だから。チューリップというバンドの1975年の曲です。花も鮮やかに美しいサボテンは、水がなくても頑張れる強い植物。数千種類あるとも言われるサボテンのように、私たちも元気な花を咲かせます!